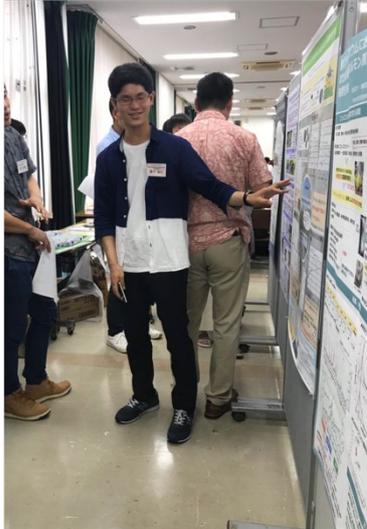


「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書
 (当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

2019年 7月 5日	
所属部局・職	野生動物研究センター・修士課程学生
氏名	義村 弘仁

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)	
横浜	
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)	
野生動物保全繁殖研究会第3回大会でのポスター発表	
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)	
2019年 7月 4日 ~ 2019年 7月 5日 (2日間)	
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)	
野生動物保全繁殖研究会	
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)	
<p>写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。</p> <p>今回の研究会では、飼育下のユキヒョウにおける植物食行動について現時点での成果を発表した。 本研究会は多くの動物園関係者が参加しており、ネコ科動物の飼育担当の方や獣医の方から意見をいただくことができた。飼育担当の方々の話では、ユキヒョウ以外のネコ科動物(トラやライオン、ヒョウなど)も植物を食べているとのことだが、毛玉とともに吐き戻すことも多いという。ユキヒョウを観察してきた中で、吐く行動は2回しか観察していないため、植物を食べて飲み込む種と植物を食べて吐き戻す種のように分けられる可能性も考えられる。植物食行動の進化を考える上で興味深いお話であった。 また、植物の摂取が腸内環境に与える影響についての質問もあり、糞サンプルを用いて、栄養成分や腸内細菌についても調査をする必要性を感じた。</p>	
	
図 1: ポスター発表の様子	
6. その他 (特記事項など)	